

掛軸の片付け方

①



両手で軸をゆっくりと巻き取る。本紙を巻き込んだあたりで、左手で掛軸を順手に持ち、右手で矢筈を持ち、掛緒を釘などから外す。

②

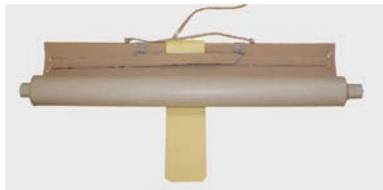


掛軸を折らないよう注意しながら上部を下に降ろし、矢筈を外して置く。

③



風帯のある掛軸の場合、まず向かって左手側の風帯を右手側の風帯の下に曲げ込む。風帯の先が余る場合には折り目に合わせて曲げる。



巻紙(幅5~7cmぐらい、長さ20~25cmぐらいの紙)がある場合にはその一端を掛軸に巻き込む形で巻き付ける。



④



掛軸を左手に、巻緒を右手に取り、巻緒を(掛軸を巻いてきたのと同じ向きに)左から右に3回巻く。仏画・名号等では巻緒が長めになっているのでそれ以上巻く場合がある。巻緒の右端で輪を作って掛緒の右下からくぐらせ左下に通す。



揉紙(包み紙)で包み、軸箱に納める。

掛軸を扱う上での注意点

掛軸は絹、和紙、木材と特殊な糊で作られている為、湿気の多い環境や過度の乾燥を嫌います。良い状態を保つ為に以下の点にご注意ください。

1. エアコンが過度に動いている部屋で掛軸を掛けしないでください。
2. 長い間掛けっぱなしにせず、時には巻いてください。
3. 掛軸は湿気のない時にしまってください。
4. 掛軸を巻く時はぎつ巻き過ぎないようにしてください。(強く巻き過ぎると軸を傷めます。)
5. 掛軸は湿気や乾燥に弱い為、桐箱などに収めて温度変化の少ない場所に保管して下さい。
桐箱には香木等を用いた防虫香を共に納めてください。ナフタレン等の防虫剤は軸先などを傷める場合があります。
6. 年に二回ほど晴れた日に虫干ししてください。